

(別紙) 鳥取県遺跡地図(試用版) 表示画面

遺跡の名称や所在地、郵便番号、駅や学校などの施設名称からも検索できます。

背景地図を案内地図(地名表記あり)、航空写真に変更できます。

文化財情報

入力例:鳥取県鳥取市東町1丁目220

検索

表示切替

※この遺跡地図において、古代は飛鳥時代～平安時代、中世は鎌倉時代～室町時代(戦国時代)、近世は安土桃山時代～江戸時代、近代以降は明治時代以降を示しています。

※古墳群の番号は3桁で表示しています(例:古海001号墳)。

※各遺跡の詳細情報は、遺跡位置を示す青丸の詳細情報をご覧ください。

※詳細な使用方法については、鳥取県埋蔵文化財センターのホームページをご覧ください。

☐ 文化財情報

☒ 鳥取県遺跡地図(試用版) [位置]

☐ 遺跡位置

☐ 時代別

☐ 種別別

☐ 学習用検索ワード別

☒ 鳥取県遺跡地図(試用版) [範囲]

☒ 遺跡範囲

市町村や時代、種類、学習用検索ワードごとに遺跡を表示できます

古墳など地点を表示する遺跡を青丸で表現しています

散布地など範囲表示する遺跡は、範囲の中心点を青丸、範囲を赤系の斜線で表現しています

遺跡名の上にカーソルをあわせると遺跡名をポップアップ表示します

遺跡名のポップアップ表示をクリックすると遺跡の詳細情報を表示します

参考となる文献やホームページを表示しています。ここから、さらに詳しい情報にアクセスすることができます。

詳細情報

選択された「遺跡位置」

選択地点の詳細情報が表示されます。

名称

青谷上寺地遺跡

分類項目

鳥取市

分類項目2

鳥取県遺跡地図(試用版)

管理番号

118-0082

市町村名

鳥取市

所在

鳥取市青谷町青谷字上寺地、古川ほか

経緯

散布地、祭祀遺跡、集落跡

時代

縄文時代、弥生時代(中期後葉、後期)、古墳時代、古代、中世、近世

遺跡概要

第9次:①遺跡中心域南側を区画する溝を抽出。→中心域の南辺を確認できた。②区画溝は矢板や横板、杭などの「木造構造物」で構築されていることを確認。③区画溝を挟んで、中心域側と水田域側の地形を確認→遺跡の幅約100mにわたって異なる構造を得た。第10次:①古墳時代前期、造成により中心域が拡張されたことが明らかとなった。②木造構造物の機能は明らかとなった(区画・土留め)。③縄文時代以前の堆積を確認し、土地形成史をたどるうえでの資料を得た。第11次:①中心域西側を区画する溝SD11が南伸び、弥生時代中期にはすでに構築していたことが判明した。②SD11埋土下層と中層において木炭層が形成される。第13次:①遺跡中心域西側区画溝であるSD11を抽出し、弥生時代中期後葉段階まで遡ることを確認。②SD11は、弥生時代中期後葉から古墳時代前期初頭までの間で、大きく4段階に遡ることを確認。③溝遺跡の最終段階(第4段階)で3列に及ぶ矢板列を確認し、それにより時期差がある事を判明。④従来、調査例の少なかった古墳時代後期から近世時代の盛土(S1・S4)を確認。国指定重要文化財

遺物

縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器(H10調査)鉄製品・青銅製品・骨角器・石器・玉類・貨幣・木製品ほか(H11調査)陶磁器・漆器・瓦石(H17)陶磁器・土師器・土師器・土師器・土師器

35.51215684, 133.99119899